



小・中学生のお父さん、お母さん！お子様から電子黒板のお話、聞いたことありますか？世のICT教育（※）推進の流れに乗り、町内の小・中学校でも平成27年度2学期より電子黒板を導入してるんです！スマホやタブレットに慣れ親しんだ子どもたちの反応は!?また、それを使いこなす先生たちの様子は!?今回は六瀬中学校と白金小学校取材しました。

※ ICT教育 = 電子黒板やタブレット端末などを使い、情報活用能力を身に付け、児童・生徒の学習意欲を高め、学力向上につなげる教育

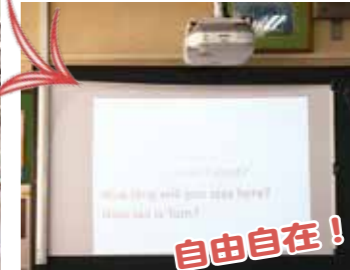


スピーディーにテンポよく！
電子黒板フル活用！

2年英語 泉正哲先生
教室前方の黒板上に、その半分ほどの面積のスクリーン。天井には何やら見慣れない物体が……。これがプロジェクター型電子黒板です！特派員が目を奪われる中、生徒たちはまっすぐに画面を見つめて、先生の質問に答えます。
スクリーンに先生が直接電子ペンで書き込みます。線の色や太さも画面上で選べるので、カラフルで見やすい！生徒は手元で同じようにカラフルに仕上げます。よくわからなかった部分は、戻ってその画面を出すこともできて便利です。先生が手際よく機器を使いこなすので、集中が途切れることもありません。次々かわる画面上の英語を読む生徒の声がテンポよく、とても活気のある授業風景です。



▲先生のタブレット端末をタッチするとスクリーンが自由に操作できます。



▲中学校では天井に設置のプロジェクター型電子黒板で投影。



生徒の感想
◆授業がゲームのように進んで面白くてやる気が出る！
◆先生が板書する時間がないので、授業の進行も早い気がする！
◆大画面で見やすい！

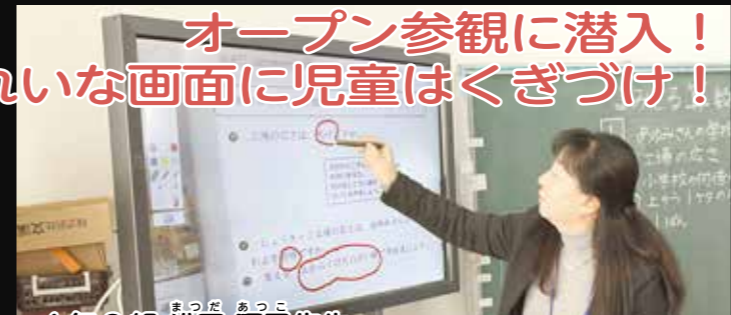
白金小学校



6年1組 中崎みのり先生
液晶モニター型電子黒板につながるノートパソコンを使って、インターネットの情報や動画を視聴。



3年1組 村上慶悟先生
プリントを実物投影機で映写。先生が液晶モニターの詩を朗読します。



4年2組 松田厚子先生
教科書を実物投影機で液晶モニターに映写。モニターに直接書ける電子ペンで大事なところをマーク。

先生も手応え実感！
◆彫刻刀の使い方など、手元を大きくきれいに映せるので、着席したまま見せられる。
◆画面上で図形を動かしたり、紙ではできないことができる。
◆子どもが前を向くことが増えた。

保護者の感想
◆ただ画面に映すだけなのに、子どもが前より集中して見てるな～と思いました。
◆教科書とリンクした画面が見やすく、子どもたちが「今どこ？」と探さなくていいですね。

集中！
クラス全員が真剣なまなざしで液晶モニターを見ます。

二刀流！
黒板も電子黒板も大活躍！情報いっぱいの授業風景です。

CHECK!
手元や資料を実物投影機で画面に大きく映します。

CHECK!
小学校に配備された液晶モニター型電子黒板。画面が鮮明。

ICT教育のこれから
今回取材された2校以外にも、町内全小・中学校で電子黒板は活躍中です。ただ、現状小学校では2学級に1台ほどしかなく交替で使っています。町では各学級に1台常設することを最優先に考え、平成28年度2学期に増設する予定です。さらに、現在は先生の指導用タブレットのみですが、今後は児童・生徒のグループ学習用の導入も検討しています。これらのICT教育機器を上手に利用できるよう先生たちの声も聞きながら、子どもたちの学習意欲を刺激し、学力アップにつなげることが大切だと考えています。



▲学校教育課 乾指導主事

～編集後記～
取材中、子どもたちが画面にくぎづけなのに驚きました。授業に変革が起きています！今後さらに教材も充実し、よりわかりやすい、興味を持てる授業になる予感がしました。電子黒板、一人の保護者としても楽しみに見守りたいです。

バレンタインの日に快走した猪名川の道!



▲2月14日、町制施行60周年記念事業の一環として「2016(第43回)猪名川町彫刻の道マラソン大会」が開催されました。

当日の朝までの大雨は嘘のように上がり、904人が快走しました。60周年の記念に実施した抽選会では、よく猪名川町で練習をしているという治久丸 信輔さん(伊丹市・写真右)が1等のぼたん鍋セットを引き当てました。



**町の発展に貢献した
個人・団体に賞を贈呈**



▲2月17日、文化体育館で「平成27年度猪名川町表彰式」を行いました。地方自治に貢献され、その功績が特に顕著であった人、地域の発展と住民福祉に貢献のあった人、町に対し金品を寄付いただいた人や団体、計10人・7団体が今年度の対象となりました。

親子でおひなさまつくったよ!



▲2月16日、猪名川保育園でおひなさまの制作を行いました。4組の親子が牛乳パックのおひなさまを一生懸命作りしました。

**ふおと
にゅ〜す**



体育館に雪!



**六瀬中に東京から
劇団がやってきた!**



▲1月21日、六瀬中学校で文化庁主催「文化芸術による子どもの育成事業」の一環として、東京演劇集団「風」の演目「肝っ玉おっ母とその子供たち」が公演されました。生徒は舞台装置や小道具の見学をし、本番では団員に交じって合唱を披露するなど、貴重な体験をしました。

**町内初!
消防団協力事業所認定**



▲2月12日、猪名川顔料(株)を消防団協力事業所に認定しました。これは、企業としてのこれまでの積極的な消防団活動の実績などから、今後のさらなる協力を期待するもので、住野代表取締役、町長からプレートが手渡されました。

税について学んだよ!



▲1月29日、楊津小学校で、伊丹税務署の協力のもと「租税教室」を行いました。子どもたちはこの学習を通して、「税金がないと生活できない」と税金に対する理解と関心を深めました。

おかあさんといっしょにお料理♪



▲2月16日、子育て支援センターで講師に「猪名川町いずみ会」さんを迎え「食育講座」が行われました。この日のメニューは「のり巻きと豚汁、みかんゼリー」。参加した子どもは、「自分で作ったおすし、おいしい!」とお話ししてくれました。

猪名川町~尼崎市までの「猪名川」をきれいに!

▲2月6日、笹尾地内と民田地内の2カ所で「第13回猪名川クリーン作戦」を行いました。参加者が予想以上に多く集まったことから、当初予定していた200mから400mに延長して清掃することができました。37人が参加した六瀬中学校では生徒たちが、「みんなで清掃すると楽しいし気持ちがいい」と話しました。



元気いっぱい「鬼はそと!」



▲2月3日、松尾台幼稚園で豆まきを行いました。園児たちは、鬼を怖がることもなく豆をまいて退治! そのあとの給食では今年の恵方「南南東」を向き、願い事をしながら、手巻きずしにかぶりつきました。

